

合志市子ども憲章は市政に どう反映されているのか！

濱口 正曉 議員

濱口 合併して5年経過し、いよいよ後半の展開期にきている。子育て支援日本一を掲げて設定した『子ども憲章』命、夢、挨拶、友だち、自然環境の5項目中、特に命・夢について市政にどう反映をされているのか。

教育部長 子どもたちの生活指針としてこの憲章を制定し、市の最重要課題として子育てに関する悩み、経済的負担、子どもの安全、教育環境についてそれぞれ目標設定し進めてきた。22年度の達成評価では子育てに関する悩みを持つ世帯の割合のみが目標をクリアできていません。

濱口 今後我々をサポートしてくれる子どもたち、夢を持って欲しいし、命を大切にしたい。教育の場として今後の課題は。

教育長 子どもたちが自分の夢を持つことは非常に大切であり、その夢を実現させるための力をつけて行くこと。そのため学校で基礎・基本をしっかりと学ばせ、自立して行く力をつけることが大切と考えている。

濱口 基礎学力ということで合志市の小学生の学力、体力はどれ位か。



学社融合「竹馬遊び」

教育部長 学力については全国標準の50に対して実績は50・1から50・2とわずかに上回っているが市の目標54には届いていない。体力テストについても目標AからCランク75%に対して71・3から68・6%と未達で今後基礎・基本の定着、指導力の改善工夫が必要と考えている。

人財バンクの推進状況について

濱口 市長マニフェストとして2年以内にその体制をとるとあるが。

政策部長 少し遅れ気味で、24年1月中旬に要綱制定、2月から登録制度の周知、その後募集を行う予定である。

市長 この制度を、やらされるのではなく、自分達でやるという方向で目標設定し、夢に向かって挑戦する合志市の体質に繋げて行きたい。

子どもの未来を守るために

今村 直登 議員



今村 大阪府前知事、現大阪市長の橋下氏と連帯している、大阪維新の会が提案している教育基本条例、職員基本条例についての見解を教育長、荒木市長に伺います。

教育長 教育は政治的中立性の中で行なわれてきた。この条例は市長の権限の大幅強化など大きな問題があるのではない。

市長 基本的に橋下市長に興味はない。改革とは進化だと思うので、独断というやり方は横暴だと思う。

TPPについて

今村 TPPで一番問題になるのはISD条項と思うが、これについて説明せよ。

産業振興部長 ISD条項は、投資家対国家の紛争解決条項だと訳されているが、一説には毒素条項と言われている。投資家（企業）が相手国政府の国策によって不利益を被った場合、国際的な司法機関に訴えることができるもので、更にそれが認められると相手国は政策の変更をしな

ければならないとする条項です。

今村 国際的な司法機関といっても国際投資紛争解決センターはアメリカの影響力が非常に強いところだ。

保育行政について

今村 政府は平成23年7月29日に子育て新システムに関する、中間報告を出した。スケジュールでは、今年度中に法案を提出し、平成25年4月から新システムを実施することが確認されている。この新システムの最も大きな問題点は、地方自治体の保育実施義務がなくなることだ。そして、一定の条件を満たせば誰でも保育園を運営できる。保育事業を金儲けの道具にするものだ。このことについてどう考えるか。

健康福祉部長 新システムは財源の問題や多くの部分がまだ検討課題として残っています。具体的な取り組みになった場合、十分当局としても対応したい。



市民一丸となって 合志警察署誘致を

来海 恵子 議員

来海 今年になって合志市では犯罪が多発していますが、市の対応は。

総務部長 平成22年度の刑法犯は255件、交通事故320件、23年11月末現在で刑法犯は344件、交通事故は286件で憂慮しています。市では生活安全条例を制定して生活安全協議会で情報の共有、セーフティパトロール、防災無線での下校時の見守りの呼び掛け、防犯灯の補助、見守り隊への帽子やベストの支援を行っています。

来海 それは、毎年やっていることです。去年に比べて100件近く犯罪が増えているのが大津署管内。そして大津署管内の主な要因は合志市であることをもっと自覚しなければ、危機意識が足りないと思います。

窃盗犯は昨年178件が今年289件で、空き巣は昨年11件が今年20件。乗り物盗は、昨年73件が今年138件、その中でもオートバイ盗は昨年5件が今年26件、自転車盗が昨年64件が今年106件で、ほとんどが中高生です。犯罪情報が毎月大津

署から担当課に届きますが、情報を分析し、庁議で認識を一致しているのか？

総務部長 話し合っています。

来海 普段なら言いませんが、県下で唯一犯罪が増えており市全体で取り組むべきです。合志市は来年は14市中6番目になりますが、警察が無いのは合志市と宇土市だけです。議会も市民の安全を守るために、警察署誘致の意見書を県に出しました。市民一丸となって警察署誘致を呼びかけないと動かないと思います。市長の決意をお聞かせください。

市長 今ご指摘がありましたように、合志市に無いからつくるのではなく、合志市に必要なだけつくるので、市民と一緒に頑張ってください。



12月15日、県警本部に「合志市に警察署設置を要望する会」より要望書を提出

国保税の値上げは 絶対に避けるべきだ！

神田 公司 議員



神田 12月1日に合志市国保運営協議会から答申が出されている。内容は、保険税の見直しと一般会計からの基準外繰入れを検討することが主なものであった。現下の経済情勢を考えると、保険税の値上げはかえって収納率の低下を招く。これは絶対避けるべきだ。

健康福祉部長 22年度と比較して、療養給付費が8・4%、高額療養費が12・5%伸びており、決算見込みでいきますと3億1300万円を超えている伸びが今見込まれている。基金も最終的には全額取り崩す状況になっている。24年度は2億円を超える不足額が出る。

神田 収納率も含めてどのように協議されているのか。

市長 熟慮中ということ。

神田 「元気をつくる養生塾」に参加されている女性から、本当に参加して良かったとほめられた。健康寿命を伸ばしていくことが大きな問題。最終的に「養生塾」だけではないが、この菊池養生園のノウハウを活用し

ながら「養生塾」を含めて、最終的に健康づくりのゴールをどのように設定するのか。また、「養生塾」は、現状は70歳以上参加できない。これはどういう意味なのか。

健康福祉部長 満足度については98・2という高評価をいただいている。新年度に向けては、またこれとはあと一歩踏み込んだ形でモデル事業等の取り組みも今担当課と打ち合わせをしており、もう一歩進める。



元気をつくる養生塾（養生園提供）